

感染症情報 6月17日～23日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①手足口病	1,803例(堺市 140例)
②感染性胃腸炎	1,085例(堺市 47例)
③溶連菌感染症	510例(堺市 53例)
④ヘルパンギーナ	350例(堺市 29例)
⑤伝染性紅斑	233例(堺市 27例)

府下インフルエンザ定点300医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	32例(堺市 1例)
---------	------------

感染症報告数は前週比6.7%減の4,336件であった。

報告数の第1位は手足口病で、以下感染性胃腸炎、溶連菌感染症、ヘルパンギーナ、伝染性紅斑の順であった。

手足口病が府下で9%減、堺市で32%減であった。大阪市東部を除いて大阪府全ブロックで警報レベル継続中である。感染性胃腸炎は府下で前週と比して2%減、堺市では20%減であった。溶連菌感染症は府下で10%減、堺市で26%減となった。ヘルパンギーナが府下で12%減、堺市で58例→29例であった。伝染性紅斑は府下で24%増、堺市で26例→27例であった。

インフルエンザは府下で前週96例→今回32例に、堺市でも前週10例→今回1例と大幅に減った。

麻疹や風疹の報告はなかった。

『風しん第5期定期接種』が開始されているが、今年度は昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生の男性を対象にクーポン券が送付されている。クーポン券は他の市町村の医療機関などで使用するのに必要となる(堺市在住の対象者に限れば、堺市内の契約医療機関を受診するのにクーポン券は不要)。